

## 平成27年度 第1回 学長選考会議議事要録

日時 平成27年5月18日(月) 15:35～16:20  
場所 事務局第1会議室  
出席者 柳生委員(議長), 小田部委員, 種田委員, 宮下委員,  
佐川委員(人文学部長), 生越委員(教育学部長), 折山委員(理学部長), 馬場委員(工学部長), 久留主委員(農学部長), 佐藤委員(大学教育センター長)  
欠席者 久保田委員, 山口委員,  
陪席者 袖山理事, 総務部長, 総務課長

### 議 題

#### 審議事項

- 1 学長の業績評価について

#### 配付資料

- 1 学長の業績評価についての申し合わせ(案)
- 2 茨城大学学長解任手続要領(案)
- 3 【参考】学長選考会議が掲げる望ましい学長像
- 4 【参考】学長所信表明(H26.9.2)  
【参考資料】茨城大学学長選考会議名簿  
【参考資料】茨城大学学長選考等要綱  
【参考資料】茨城大学学長解任手続要領

## 議 事 概 要

### I 議事要録の確認

議長から, 平成26年度第7回学長選考会議議事要録については, 既に学内のグループウェア及び大学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

### II 審議事項

- 1 学長の業績評価について

議長から, 学長の業績評価の時期や方法などについて, 審議願いたい旨の提案があった。また, 審議された結果について, 会議終了後, 議長から学長へ業績評価の方法等について説明する旨の発言があった。さらに, 総務課長から, 資料1, 2及び3に基づき説明があり, 審議の結果, 資料1を一部修正し, 承認された。

#### 【主な意見】

- 表題の「学長の業績評価についての申し合わせ(案)」について, 申し合わせではなく「学長の業績評価について」としてはどうか。

- 本学の規則体系とは別の扱いとして、学長選考会議が定めるものと示すために「申し合わせ」としたが、「学長の業績評価について」とする。
- 業績評価の結果は公表するのか。
- 業績評価の結果を公表することは、大学の運営が正しく行われていることを社会への説明責任を大学として果たすことになる。結果をフィードバックすることで大学の改革・改善に繋げていく。業績が著しく悪い場合には、学長を解任する事にも繋がる。P D C Aをしっかりと行っていく。
- 学長の業績評価の方法について、資料3に学長所信表明が掲げられているので、現状と照らして、評価項目ごとに評定とコメントをしていただく。大きな観点で達成状況を評価していただきたい。
- 業績評価項目について、教育・研究・地域連携などと大括りなので、客観的な資料や数値で判断できるダイジェスト版を用意してほしい。
- 学長へ「学長選考会議が必要と認める資料」として伝え、エビデンスとして提示していただき、それらを踏まえたプレゼンテーションを行っていただく事は可能と考える。
- 評価方法の「期待する程度」について、「期待」とはどのようなことか。
- 「期待」とは、学長の資質や学長選考会議で選考するにあたって「期待」したことである。今回は暫定的な取扱いであり、現状では、学長選考会議が掲げる望ましい学長像が「期待」となる。
- 今回は、学長選考会議が策定した「望ましい学長像」と学長就任時の所信表明に掲げた内容を評価の基準として、それに対して「期待する程度」がどうであったか、という評価方法なのか。
- 学長選考については、「学長の選考基準」をより明確に示していただくことで、基準というものが、正に「期待する学長像」になる。それに対しての達成度について評価することが本来の評価方法である。
- 本年9月の中間評価について、今回審議された業績評価方法では実施しないが、来年、再来年についてのみ実施する。それ以降は「学長の選考基準」を示していただき、それに基づいて評価する方法となる。
- 今回の中間評価は初めての事であり、柔軟に議論していただきたい。決定したからといって動かさないものではない。

## 2 その他

- 次回学長選考会議開催日 9月 日 ( ) 時 分 (予定)